

礼 拜 順 序

司 会
奏 楽

前	奏		
招	詞	詩編100:1-5	
諷	詠	546	
交	読	14 詩50篇	
讃	美	90	
聖	書	旧約 イザヤ 6:8-13 (p. 1239 or 1070) 新約 ルカ 19:41-44 (p. 171 or 148)	
祈	禱		
讃	美	195	
説	教	「ああ、エルサレム、エルサレム」	小井沼 光兄
祈	禱		
讃	美	526	
奉	献	(献金・祈禱)	
主	の	(564)	
頌	栄	542	
祝	禱		
後	奏		
報	告		

一 次 週 礼 拜 一

説 教 「裁判と尋問」
聖 書 イザヤ53:8-12
ルカ22:66-
23:12

讃美歌 92 187 138
練習 II 80

交読文 15 詩51篇

一 本 日 の 集 会 一

コーヒー・タイム

求道者会 礼拝後 於 談話室
教会に始めて見えた方、求道者
(洗礼を受けておられない方)は
お集まりください。

一 今 週 の 集 会 一

教会学校夏期キャンプ
22日(土) - 24日(月)

於 剣崎「丸太小屋」

壮年会例会

29日(土) 午後6時

発 題

「バングラデシュに魅せられて」

一 報 告 と お 願 い 一

掃除当番をよくご確認ください
都合のつかない方は変わりの方
にお願いしてください。

一 今 週 の 誕 生 者 一

一 集 会 状 況 一

		男	女	計
主 日 礼 拜	8/16	19	64	83
教 会 学 校	8/16	11	16	27
成 人 科	8/16	1	2	3

一 牧 師 室 か ら 一

一年に五回くらい説教をしない
週がある。その週は本当に「ホッ
」とする。牧師は説教をするよう
に召されたわけで、説教をしない

週 報

1992年8月23日 聖霊降臨節第12主日

巻 13 21号

1992年度教会主題

「復活の主を見る」

聖句 すると、二人の目が開け、イエスだと分かったが、その姿は見えなくなった。二人は、「道で話しておられるとき、また聖書を説明して下さったとき、わたしたちの心は燃えていたではないか、語り合った。

ルカによる福音書 24章31節～32節

- 目標 1. 生活を整えて礼拝、諸集会を守る。
2. 交わりを深めつつ、教会の新しい方向を求める。

日本キリスト教団

横浜港南台教会

〒233	横浜市港南区港南台 7丁目-8-29
電話	045-833-5323、045-833-6616
振替	横浜 9-13994

牧師 秋 吉 隆 雄

ある。自分の言いたいことを聖書や著名人の言葉で補強する説教、人間の現実から遊離した伝統主義的な説教、罪を説かず時代の価値に迎合した説教、これらに陥らないように心掛けなければならない。

プロテスタント教会は聖書を神の言葉と信じ、その説き明かしの説教に集中してきた。しかし、神の言葉は、人間の自由を圧殺する権威主義的な、あるいは歴史を抽象化する無時間的な真理ではない。聖書は、あくまで歴史の中でうめき苦しみ、又喜んだ具体的な人間が書き記した書物である。私たちは、その聖書記者たちの意に添って読む。その時、始めて私を慰め励ましてくれる救いの書となる。聖書は自明に神の言葉で「ある」のではなく、聞いて受け入れ神の言葉に「なる」のである。最近、宗教と言えば非理性的・没個性的になることと誤解されているように思える。キリスト教信仰は聖書を学びイエス・キリストに倣うことであるが、それは縛られることではなく、神にのみ固執し自分らしく解放されることである。

週に「ホッ」とするのは矛盾しているが、率直に解放される。私の説教の準備は、まず週初めに与えられた聖書を繰り返し読む。そして注解書を数冊読み、問題の言葉を原語で確かめる。それから時間をかけて思い巡らす。ソファーに横になりイエス・キリストの顔やしぐさ、回りの人々の表情を想像するのは何とも楽しい。原稿を書き始めたら一気に書きあげる。神学生時代「五十歳までは説教の原稿を全て書きなさい」と言われたので、私はほぼ一字一句書いている。その原稿が八十頁の大学ノートで、現在ちょうど百二十冊目である。それにしては、牧師になりたてのような固く貧しい説教である。あえて私の説教の良い点を挙げれば、長くないことと真面目なことであろう。どの牧師も真面目に説教に取り組んでいるが、私のいう真面目さとは聖書そのものに聞こうとする真面目さである。説教は牧師の個性に委ねられているが、個人的な人生観や哲学や文学論を語ることはない。あくまで聖書そのものを説き明かすことで